

子宮がん検診に関する研究に対するご協力のお願い

「研究課題名」 当院子宮がん検診外来における受診者の傾向と考察

研究対象者は 2010 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院で市町村医療機関検診として子宮がん検診を受けた患者さんです。

子宮頸がんは子宮頸部という子宮の入り口にできるがんです。95%以上がヒトパピローマウイルス（HPV）の持続感染が原因であり、HPV ワクチン接種による一次予防と、早期発見して浸潤がんになる前に早期治療する二次予防の定期的ながん検診で予防可能とされています。しかし、日本は HPV ワクチン接種率も子宮頸がん検診受診率も海外に比較して低い状況です。子宮頸がん検診は市町村検診、職域健診、人間ドックなど複数あります。その中で市町村検診は検診結果の精度管理が義務化されていて、検診実施機関にも検診体制を整備することが求められます。当院では市区町村から委託を受けて予約制の子宮がん検診を行い、検診協会から送付された全受診者の検診結果をデータ管理しています。当院では 2009 年以降に契約市町村が増加し、受診数が増え続けています。当院における市町村子宮がん検診の現状を把握するため、15 年間の検診状況を解析する臨床研究を計画しました。本研究の成果を、今後の検診を含めた外来診療に生かしたいと考えております。

本研究は茨城県総合健診協会および取手市医師会取手北相馬保健医療センター医師会病院から送付された結果用紙に記載された受診日、受診者の年齢、住所、細胞診結果、および要精査者のみ診療録から情報を個人が特定できない形で抽出し解析を行う研究であり、研究のために研究対象者の新たな負担は一切ありません。本研究のために研究対象者に連絡することはありません。

研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守し、研究対象者のプライバシー保護について最善を尽くします。本研究結果が公表される場合にも、個人を特定できる情報を含みません。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用いたしません。

研究協力は任意であり、いつでも同意が撤回できます。不同意や同意撤回により、その後の診療時に不利益な対応を受ける心配は一切ないことをお約束いたします。本研究への協力を望まれない患者さんは、下記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

ご質問等がございましたら、お気軽にお問合せください。

「問い合わせ先」（つくばセントラル病院 産婦人科 宮本和恵/柴田衣里）

連絡先電話：029-872-1771